
桜色

結花実

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜色

【Nコード】

N9516B

【作者名】

結花実

【あらすじ】

中1有空美春は、ある日担任から生徒会に誘われる。そこで出会う沢山の人に刺激されて、美春の日々は変わっていく。一方その裏で、委員会活動で目立つ美春をねたむ女子、先輩からのいじめも…そんな事にも負けず、一生懸命な美春にある男子は恋をしてしまう。美春もだんだん惹かれていくが…？

01 生徒会

私 有空 美春

ただ今中学1年生。

11月のある日の昼休み、担任の先生に呼び出された。

「有空サン、ちょっと」

そういつて連れてこられたのは人気のない階段。

最初は、何を怒られるのかとドキドキしたけど、
先生の少しハズんだ声からはどうやらそうではないらしい。

「有空サンさ、生徒会やってみない？」

………え？

想像もしてなかった言葉。

「有空サンすごい向いてるとおもっただけど」

…私は、いつもハキハキしていて、成績もいい方だったし、先生には結構好かれている方だ。

今までモリ・ダ・関係の頼みごとはよくされたけど、生徒会は予想外だった。

『え……。そんなセンス……。ウチより向いてる子いるでしょ……。』

と、とりあえず軽い感じで断ってみたが

「絶対有空サンにやってほしいのよ。」

どうやら簡単にひき下がってはくれないみたいだ。

『じゃあ…考えておきます。募集はまだ先ですよね。』

すると

キ・ンコ・ンカ・ンコ・ン

チャイムだ。

よかった。

助かった。

『それじゃあ』

そそくさと会話を切り上げて、私は教室へ向かった。

その時、私は生徒会なんて、絶対やりたくなかった。

そのかつこいい響きには多少の憧れはあったが、生徒会本部役員になるには、そう、

選挙をしなくてはならないのだ。

気が小さい私は、選挙に落選したことを考えるだけで寒気がした。

絶対落ちる。

生徒会なんて絶対やらない。

心にそう堅くきめた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9516b/>

桜色

2010年10月8日15時04分発行